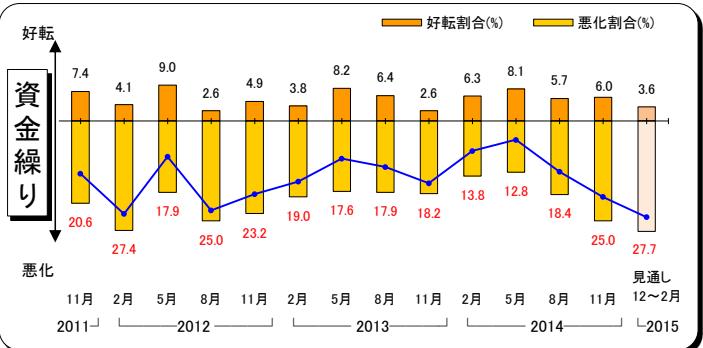
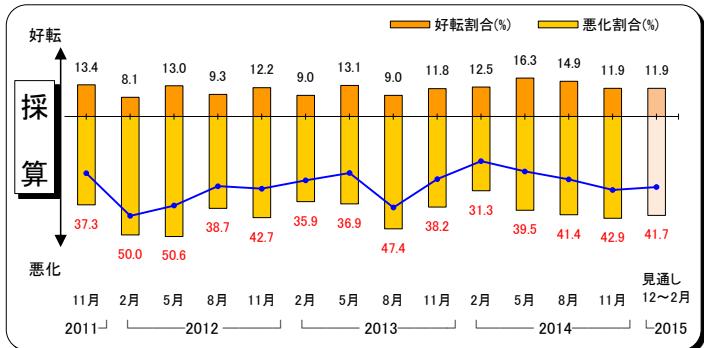
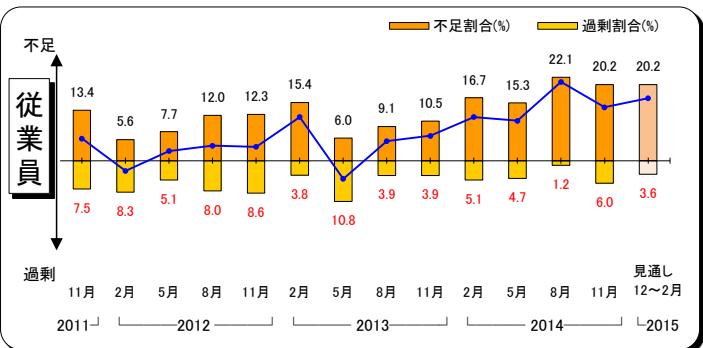
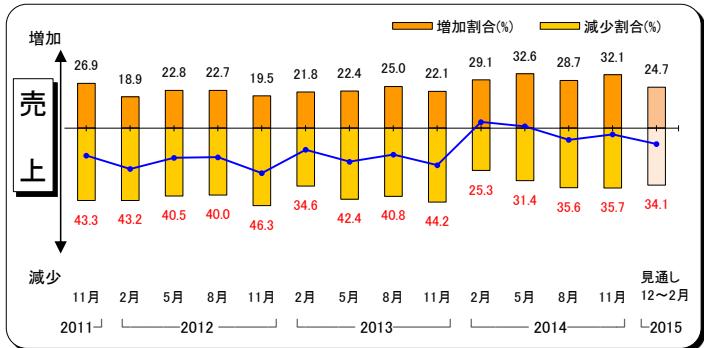
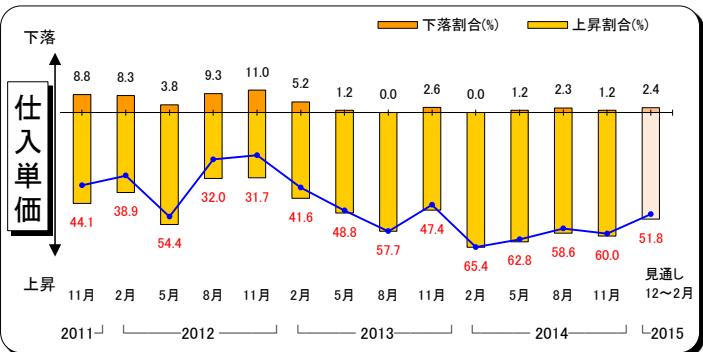
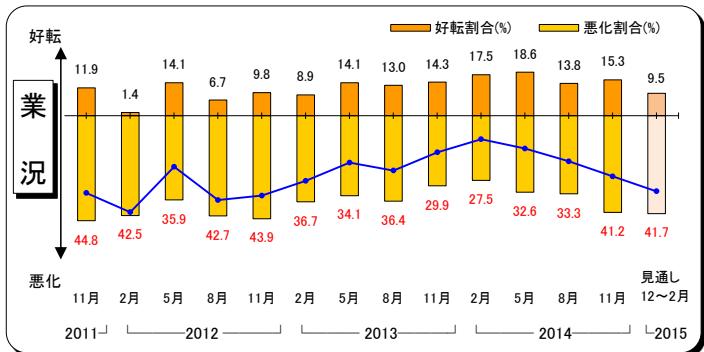


【卸売業】①



【卸売業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

飲料卸売業	消費税増税に伴う価格転嫁交渉の停滞を懸念している。
食料・飲料卸売業	消費税率の引き上げ後、中小企業は苦しんでいます。当社はたまたま業況が悪くないですが、今後の見通しが難しいのが現状です。無理やりの円安は、消費者にとって害の方が大きいと思います。
食料・飲料卸売業	円安が続き、輸入原料の高騰、販売価格の値上げ据置、外食から内食への影響など我々の息の根を止めるような状況。いつまで生き延びる事ができるのか?こんな話が多く聞かれ、前向きな話は聞かれない。そこで弊社は異業種との取組への事業計画を経て、特許取得、環境にやさしいコーティング事業と環境にやさしい洗剤の開発に着手。2015年に通信による国内販売、それに伴い世界への販売を計画している。このビジネスは、高齢者の雇用、国内廃校利用したコーティング・ライセンススクールの設立、高齢者を含むライセンス取得人材の派遣業務などを計画しているが・・・。
木材・竹材卸売業	急激な円安で輸入コストが高騰し、採算が悪化している。円安に見合う値上げは直ぐにはできない。
建築材料卸売業	業務経験のある人材が不足。将来の住宅市場の縮小が不安である。特に、消費税率アップによる需要の先食いで、今後の市場縮小が予想される。
化学製品卸売業	為替の動向に注目している。
鉄鋼製品卸売業	輸出環境においては、円安とはいえ、その分海外マーケット(中国の安売り等)と比較して値引き要求され、仕入においては円安を理由に値上げされ、流通においては常に厳しい状況下に置かれているのが現状です。
鉄スクラップ卸売業	日本人は平和ボケのためか、あまりにも働くなさ過ぎる。条件を気にしなければ、働くところはいくらでもあるが・・・? それでも失業率が云々といった議論など可笑しい。国は国民に働くようPRすべきだ。
非鉄金属スクラップ卸売業	円安進行と共に国際商品に連動するアルミ、非鉄金属価格は上昇しています。決して国内需要が増大している訳でもなく、為替のみの影響です。鉄スクラップは円安にもかかわらず下落しています。先行きに非常に危ういものを感じます。
産業機械器具卸売業	激しい円安となり、仕入先がすべてアメリカのため、非常に苦戦している。弊社のような零細企業は余裕資金がないため、為替対策が追いつかない。売値に転嫁することもなかなかできずにいる。
産業機械器具卸売業	4月以降は消費税率引き上げによる景気ダウンが続いており、個人消費に関しても、マスクなどに煽られてか、消費者のサイフのヒモが固くなっています。何かきっかけがあれば、少し良い方向に向いてくるのではないかと思います。
産業機械器具卸売業	円安の影響で、外国の売り先からの送金がよりスムーズになってきているが、日本メーカー側にとっては、既に上昇していた仕入単価をさらに値上げせざるを得ない状況にある。当社にとっては、次回の契約から仕入価格が軒並み値上がりし、利益の減少となると予想される。
タイヤ等自動車部品卸売業	消費税率引き上げがあるという前提で平成27年(1~12月)の計画を作成中であったが、「引き上げは平成29年4月に延期」と首相記者会見で表明された。政治の混迷が腹立たしい。
理化学機械器具等卸売業	日本の産業構造上、製造業が海外に進出して国内に製造所を置いていない特徴から、円安は輸出に貢献しないのみならず、輸入原価を押し上げ、消費者心理を押し下げていると感じています。さらなる円安は「さらなる製造業の空洞化」を招くものと思っています。
化粧品卸売業	同業者間の値引き競争が激しく大変です。